

バリアバリューから 社会を変える

～ みんなが求める
ユニバーサルマナー ～

「バリアバリュー」とは、障害(バリア)を価値(バリュー)に変えることを表す造語です。障害を取り除くという意味のバリアフリーとは異なり、障害は取り除くべきものではなく、価値に変えていけるもの、プラスに変換できるものという想いが込められています。

例えば、車いすに乗る高さ約100cmの目線だからこそ、気づくこと、伝えられることがあります。目が見えないから、耳が聞こえないから、他人とは違う経験や感性こそが新たな価値を生み出します。



平成30年

11月4日(日)

午後2時～午後4時

(開場:午後1時30分)

各務原市立中央図書館
多目的ホール(4階)

各務原市那加門前町3-1-3

*名鉄「市民公園前駅」より徒歩3分

定員:160名(先着順)

参加料:無料

株式会社ミライロ

日本ユニバーサルマナー協会 理事

岸田ひろ実さん

1968年大阪市生まれ。知的障害のある長男の出産、夫の突然死を経験した後、2008年に自身も大動脈解離で倒れる。成功率20%以下の手術を乗り越え一命を取り留めるが、後遺症により下半身麻痺となる。約2年間に及ぶリハビリ生活中、絶望を感じて死を決意。娘の励ましがきっかけで、娘が創業メンバーを務める株式会社ミライロに入社。高齢者や障害者への向き合い方「ユニバーサルマナー」の指導を中心に、障害のある子どもの子育てについて等、年間180回以上の講演を実施。2015年はハワイにてADA法を学ぶツアー、2016年はミャンマーにて知的障害のある子どもの両親への講演など海外での活動も実施。2014年開催の世界的に有名なスピーチイベント「TEDx」に登壇後、日本経済新聞「結び人」・朝日新聞「ひと」・テレビ朝日「報道ステーション」など数々のメディアで取り上げられる。